

2015年4月30日

Press Release

Dorma と Kaba が合併計画を発表

- 世界のセキュリティ&アクセス・ソリューション業界の上位3社にランクされる dorma+kaba が誕生。単純計算した合計売上高は 20 億スイス・フラン(19 億ユーロ)以上
- ポートフォリオ、バリュー・チェーン、地理的フットプリントが相互補完関係にあることを活かし、すべての主要市場で業界をリードする製品・サービスをシングル・ソースから提供可能に
- 有望な成長の機会と大きな相乗効果の可能性により、Kaba 株主に少なからぬ付加価値をもたらす。1 株あたり 50 スイス・フランの特別配当支払いを計画
- Dorma オーナー一族が Kaba 株式の 9.1%を取得。合併後の新会社の経営に積極的に関わり、Kaba 一族の株主とともに強力かつ長期志向の安定株主として新グループに貢献する方針
- 合併後、dorma+kaba holding はスイス証券取引所(SIX)に上場の予定。その時点での株式保有率は Kaba が 52.5%、Dorma オーナー一族 47.5%
- Kaba は 2015 年 5 月 22 日に臨時株主総会を開き、合併案の承認を求める計画。取引の完了は 2015 年第 3 四半期を見込む
- 4 月 30 日 10 時 30 分(中央ヨーロッパ時間、CEST)より、チューリヒでメディア関係者/証券アナリストを招いて買収計画の説明会を開催、その様子をドイツ語でウェブキャスト放映(www.kaba.com/webcast)。同午後 3 時 30 分(CEST)から、アナリストを対象に電話で説明会(英語)

Kaba Holding AG(SIX コード:KABN、本社:スイス/リュムランク)と、同族所有企業の Dorma Holding GmbH + Co.(KGaA、本社:ドイツ/エンネペタル)は、経営を統合し、dorma+kaba グループを結成する計画です。両者間でその合意が成立し、4 月 29 日夕刻、双方が合意書に署名しました。

Dorma はアクセス・ソリューションと関連サービスのプロバイダーであり、ドア・クローザー、自動ドア・システム、ガラス窓用防犯金具のグローバル・マーケット・リーダーです。Kaba はアクセスコントロール、勤怠管理システム、そしてキー・システムのグローバル・リーダーです。Kaba の会長、Ulrich Graf の言葉です。「Dorma と Kaba の強力なブランドが経営を統合し、業界に新しいリーダー企業が生まれます。安定株主は長期志向の姿勢を守ると約束しており、このことはダイナミックに変化する業界で他社と競争するうえで、私たちにとってもう一つの真の有利な要因となります。」

統合後の新会社の概要は、売上高が単純合計で 20 億スイス・フラン以上、従業員は約 1 万 6,000 人、拠点を置く国は 53 カ国に達します。dorma+kaba は小企業乱立状態にあるセキュリティおよびアクセス・ソリューション業界で世界の上位 3 社の一角に名を連ねることになります。Dorma の会長である Hans Gummert は、「グローバルに活動する私たちの会社が一つになることで、市場地位は格段に向上します。2 つの会社はともに創業以来 100 年を超える伝統を持ち、よく似たバリューを信奉しています。それだけでなく、経営戦略上の考え方も大筋では似通っています」と語りました。

Dorma と Kaba – 相性は申し分なし

Dorma と Kaba は専門技術知識、製品、そして流通チャネルの面でも、非常に良好な補完関係にあります。流通 / サービス・ネットワークの共有、クロスセリング、そしてセキュリティと建物アクセスコントロール・ソリューションのワンストップ・ショップとしてのポジショニングが、統合後の新会社にさらなる飛躍の可能性を切り拓きます。Dorma の CEO である Thomas P. Wagner は次のように述べています。「私たちは Kaba とともに大きな一歩を踏み出します。提供する製品ポートフォリオを拡充し、グローバル・プレゼンスを強化し、技術革新に向けての力を高めます。それにより都市化やデジタル化などのメガトレンドがもたらす機会を、すばやく、よりの確に掴むことができます。」

dorma+kaba は、すべての主要工業国市場に生産拠点を擁し、欧州、南北アメリカ、およびアジア太平洋地域のプレゼンス強化を通じてグローバルな成長を加速させます。

成長と相乗効果の大きな可能性が新グループの企業価値を大きく押し上げ

Dorma と Kaba の 2013/2014 営業年度(2014 年 6 月 30 日決算)の売上高は、単純合計で 22 億 4,200 万スイス・フラン、利払い・税金・償却前利益 (EBITDA) は 3 億 300 万スイス・フランでした。同じく単純計算で求めた EBITDA 利益率は 13.5%となります。

Kaba の CEO である Riet Cadonau は、「Dorma と Kaba はあらゆる意味で理想的なパートナーであり、相性はこれ以上望めないほどぴったりしています。経営統合によって、持続性と利益を伴う成長の新たな機会が生まれ、私たちの取引先、パートナー、従業員そして株主の方々に付加価値をもたらすことができるでしょう」と述べています。

今後 4 年間、dorma+kaba は相乗効果による増収分を含め、年率 6 ~ 7% の成長を目指します (ローカル通貨ベース)。その一方で、仕入規模の増加、インフラコストの最適化、効率の改善などにより、年間コストを 6,000 万 ~ 7,000 万スイス・フラン節減できる見通しで、合併の 4 年後にその効果がフルに現れると予想されます。経営統合に伴う一時的な費用は、統合によって最終的に得られるコスト節減効果の 1 年分と見られています。

相乗効果がフルに現れ始めた時点で、EBITDA 利益率は 18%に達する見通しです。合併により 1 株あたり利益は(パーセンテージにして)2 桁増加する見通しです。将来の配当性向に関して dorma+kaba は、少数株主損益調整後の連結純益の少なくとも 50%を配当金に充てる考えです。

取引手順

Kaba 株主による合併承認を待って、Dorma のオーナーである Mankel/Brecht-Bergen 一族は、Kaba の授權資本枠内で同社の登録株式(額面 0.1 スイス・フラン)を 38 万株買い取ります。取得価額は 1 億 7,840 万スイス・フランで、2015 年 4 月 28 日の後場終了まで 90 日間の取引高で加重平均した Kaba の平均株価 519.45 スイス・フラン(ブルームバーグ)から、新株のため権利のない特別配当金 1 株あたり 50 スイス・フランを差し引いた額が、株式取得価格となります。この増資後、Kaba Holding に対する Mankel/Brecht-Bergen 一族の出資率は 9.1%、Kaba 家株主の株式保有率は 18.2%となります。

経営統合完了の暁には、Kaba Holding は事業資産を今日の Dorma Holding に移し、Dorma Holding の事業と統合、その上で Dorma Holding の過半数にあたる 52.5%の株式を取得します。この結果、Mankel/Brecht-Bergen 一族の Dorma Holding(事業統合後)に対する出資率は 47.5%となります。新グループは、dorma+kaba の名前で事業を継続します。SIX 上場企業の Swiss dorma+kaba Holding が持ち株会社となり、グループの経営戦略、事業運営、財務に責任を負います。統合される事業は、持ち株会社の 100%連結対象となります。

資産評価

まず、Dorma と Kaba は同一評価を約束します。約定取引構造に基づき、Dorma は EV/EBITDA に 10.1、Kaba は同じく 12.2 を乗じた額の資産を新会社に拠出します。拠出後に Kaba Holding の手元に残る約 1 億 9,000 万スイス・フランの現金および流動性を考慮して、新会社の所有権の 52.5%を Kaba に、47.5%を Mankel/Brecht-Bergen 一族に配分します。Kaba Holding 役員会が N+1 Swiss Capital に作成を委託した中立的立場からのフェアネスオピニオンは、財務の観点から見て、所有権配分は公正でバランスが取れていると保証しています。

Mankel/Brecht-Bergen 一族は、事業の過半数所有を手放す見返りとして、今日の Dorma Holding の株式を市場価格で買い取り、将来 dorma+kaba Holding の統率体制に変化が生じた場合には、過半数株主の地位回復を図る権利を留保します。dorma+kaba Holding 株主は、そのような統率体制の変化が起きた場合に、2018 年末までは 4 分の 3 の特別過半数決議により、2019 年から先は単純過半数決議によって、Mankel/Brecht-Bergen 一族に与えられたこの権利を無効にすることができます。

強力な安定株主グループと企業統治

合わせて dorma+kaba Holding 株式の 27.3%を保有する Dorma と Kaba の同族株主は、強力な安定株主グループを構成する方針を明らかにしており、保有株式の長期プールを約した合意書に署名しました。その中で双方は、相互に保有株式の先取権を認めること、および保有株式の 27%またはそれ以上を第三者に一括売却する場合は、この買い手に対し、1 株あたり同一価格ですべての株主を対象に株式公開買い付けを行うよう申し入れることでも合意しています。

Dorma の株主の Christine Mankel と Stephanie Brecht-Bergen (née Mankel) は、「私たちは同族経営企業オーナーとしての責任を認識し、新生 dorma+kaba グループを、長期志向の安定株主として前向きにサポートします。Kaba の新株の取得を通じて、私たちはこれまで以上に事業への関わりを深くすることになります。そうすることで私たちは、自分たちの会社を業界をリードするグローバル企業に育てる貴重なチャンスをつかみたいと考えています」と述べています。

統合後の新会社の取締役会会長には Kaba の会長である Ulrich Graf が就任し、CEO 候補として Kaba の CEO である Riet Cadonau が指名されました。Dorma の CFO である Bernd Brinker は CFO に指名されています。新グループの役員会メンバーの人選は最大限、バランスに配慮して行われる予定です。

リュムランクとエンネペタルは、統合後も重要な拠点として維持されます。リュムランクには dorma+kaba Holding の本社が置かれ、エンネペタルは将来ドイツ語圏諸国の事業活動を束ねる「アクセス・ソリューション DACH」事業部の拠点となります。

Kaba 臨時株主総会の開催と取引の迅速な完結

Kaba は 2015 年 5 月 22 日に臨時株主総会を開き、合併案の承認を求めます。総会開催に当たっては、株主、特に浮動株主に出席を呼びかけ、この取引引きに関連して強制力のあるオファーを提案する必要を確実になくす考えです(予定された取引に対するオプトアウトの制限)。Kaba の取締役会はまた、現行の 5%株式譲渡規定と議決権制限の廃止を含む定款変更案を臨時株主総会に提出します。取締役会はさらに、資本準備金から登録株式 1 株あたり 50 スイス・フランの特別配当金支払いを提案します。特別配当金の支払い総額は、授権資本金の増額に由来する資本流入額にほぼ相当します。

dorma+kaba Holding の取締役会の追加メンバーとして、Dorma の株主である Christine Mankel と Stephanie Brecht-Bergen、そして Dorma の会長である Dr. Hans Gummert の指名が提案されています。2011 年から Kaba 取締役会メンバーの一人として執務してきた Thomas Pleines は、退任に同意しました。

臨時株主総会で承認された議決事項は、合併の成立と同時に発効します。その合併の成立は、株主および独占禁止当局の承認ならびに慣習上の要件が満たされることを条件に、2015 年第 3 四半期になると見込まれています。

2013/2014 営業年度(2014 年 6 月末決算)の主要経営指標

	Kaba ¹ 単位:100万スイス・フラン	Dorma ¹ 単位:100万ユーロ	dorma+kaba 単純計算ベース ¹ 単位:100万スイス・フラン ²
売上高	1,003.5	1,010.3	2,241.7
粗利益	446.8	436.2	981.4
粗利益率	44.5%	43.2%	43.8%
EBITDA	155.3	120.2	302.6
EBITDA 利益率	15.5%	11.9%	13.5%
EBIT	123.6	89.3	233.0
EBIT 利益率	12.3%	8.8%	10.4%
純利益	84.6	71.6	172.4 ³
自己資本比率	62.8%	52.1%	57.2%

- 1) IFRS ベースの参考値
- 2) 2013/2014 営業年度のスイス・フラン/ユーロの平均為替相場:1.225608
- 3) うち 52.5%は dorma+kaba Holding 株主に帰属

このプレスリリースについてのお問い合わせ:

日本カバ株式会社 (<http://www.kaba.co.jp>)

マーケティングコミュニケーションズ / 担当: 益田

横浜本社: 横浜市緑区白山 1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク

Phone: 045-532-4503 FAX: 045-938-4588

Email: yasuko.masuda@kaba.com

Kaba について

Kaba グループは高品質アクセス管理ソリューションのリーディング・プロバイダーで、キー、シリンダー錠、物理アクセス・システム、企業の勤怠管理、ホテルの入退室管理システムなど革新的な製品、システム、サービスをグローバルに提供しています。同グループは、ハイセキュリティ・ロック、キー・ブランク、トランスポンダー・キー、キー製造機械の分野でもグローバル・マーケット・リーダーです。スイス証券取引所(SIX)上場企業である Kaba グループは売上高が約 10 億スイス・フラン、世界の 60 カ国以上で 9,000 人ほどの従業員を擁しています。創業以来 150

年以上にわたり、Kaba は顧客にとっての真の価値を一貫して重視しつつ、セキュリティと関連分野において、機能性と利便性、デザインなどの面でトレンドを作ってきました。

SIX コード: KABN

詳細情報は、www.kaba.com でご覧いただけます。

Dorma について

Dorma は、建物のセキュリティ向上に寄与するアクセス・ソリューションとサービスのグローバル・パートナーとして大きな信用を得ています。創業から 100 年を超える伝統を持ち、ヒンジ、クローザー、フロア・スプリングから、自動ドア・システム、時間 & アクセスコントロール・ソリューションに至る、ドアの操作に係るあらゆる側面をカバーするソリューションを総合的に提供しています。Dorma はまた水平スライド・ウォール・システムも提供しています。国際企業の Dorma グループは、ドイツのエンネペタルに本社を置き、世界の 50 カ国以上に進出、従業員は約 7,200 人を数えます。

詳細情報は、www.dorma.com でご覧いただけます。

免責事項

このコミュニケーション資料には、将来の出来事を想定した一定の記述が含まれ、そのことを示すために「思う」、「予想する」、「期待する」などの不確定性を示す文言が使われています。そうした将来の出来事に関する記述は、当社が十分な根拠をもとにそうなると思える想定および期待に基づくものですが、絶対にそうなる保証されているわけではありません。したがって当然のこととして、既知の、そして未知のリスク、不確定性およびその他の要素をはらんでおり、実際の結果、財務状況、会社ないしグループの動向もしくは業績が本資料に明示的または暗示的に記載した予想と大きく異なる可能性があり得ますので、相応の配慮をもって取り扱っていただく必要があります。その種の要因には以下が含まれます：

- ・一般的経済動向
- ・他社との競争
- ・新技術の影響とリスク
- ・会社の継続的な資金需要
- ・資金調達コスト
- ・買収後の統合の遅れ
- ・営業費用の変動
- ・為替と原材料価格の変動
- ・熟練従業員の採用・確保
- ・拠点を置く国の政治的リスク
- ・関係法規の変更
- ・このコミュニケーション資料中で挙げたその他の要因

これらのリスク、不確定性またはその他の要因のひとつ、または二つ以上が実際に発生するか、もしくは前提となる想定ないし期待がひとつでも外れた場合、状況が想定から大きく異なる可能性があります。読者は、そうしたリスク、不確定性またはその他の要因の存在をわきまえ、将来の出来事を想定した記述に過大な信頼を置くことがないように留意する必要があります。当社は、その種の将来の出来事を想定した記述に関して、続報の提供ないし更新、または将来の出来事または動きに合わせた調整について、なんら責務を負わないものとします。当社は、過去の結果または業績が、将来の結果または業績についての結論をもたらすものでないことを明言します。

さらに、暫定結果が必ずしも年度末の結果を示唆するものでないことを指摘しておきます。不安を感じる投資家の方には、中立のフィナンシャル・アドバイザーに相談することをお勧めします。このプレスリリースは、有価証券の売買を推奨するものではありません。

Kaba ®、Com-ID ®、Ilco ®、La Gard ®、LEGIC ®、SAFLOK ®、Silca ®などは、Kaba グループの登録商標です。

国ごとに固有の要件ならびに経営上の考慮事項のために、Kaba グループのすべての製品およびシステムが、あらゆる市場で入手いただけるとは限りません。